

勝手口ドア 枠

エピソード NEO / エピソード

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更 エピソードNEOを追加しました。

- この説明書は、必ず取付される方にお渡しください。
- お施主様向けの取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

注意 / お願い

- 本説明書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。
- 内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をお取扱いください。

表示	意味
注意	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お願い	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

注意

取扱い・施工上の注意

- 反り、変形防止のため、樹脂部を直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
 - 保管、運搬の際は樹脂部に直接荷重がかからないようご注意ください。
 - 商品の運搬は相応の人数で行ってください。(最大で50kgとなります。)
 - 樹脂部をハンマーなどで直接たたかないでください。樹脂部が割れるおそれがあります。
 - ドア本体の吊込みは相応の人数で行ってください。
 - 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。
- 取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能、性能を発揮できず、家屋の損害の原因になる場合があります。

ねじの締付けトルクについて

- 電動ドライバーなどをご使用の際、締付け過ぎますと、ねじが空まわりするおそれがあります。
 - 電動ドライバーなどをご使用の際は、適正トルクでねじ留めしてください。
- 締付けトルクは以下を目安に設定してください。
- アルミ部 : 2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度
樹脂アングル部 : 1.0N・m (10kgf・cm) 程度

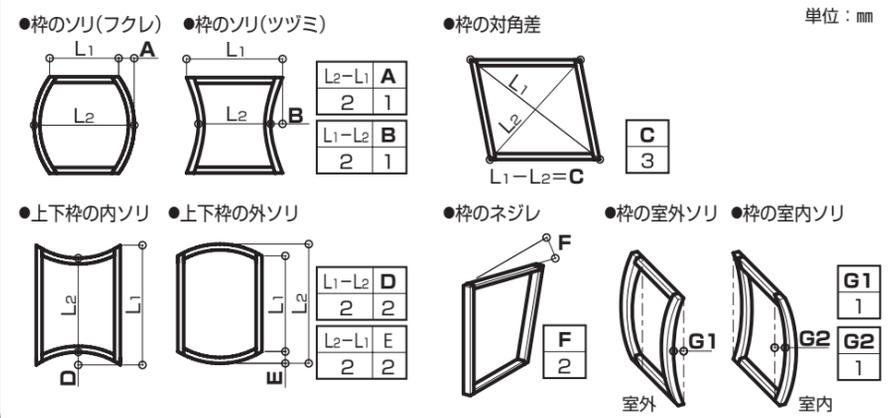
お願い

● ねじの締付けについて

- 取付ねじはまっすぐに打ってください。
- また、樹脂部材(アングルなど)のねじ留めは締めすぎないように本説明書にある適正トルクでねじ留めしてください。

● 枠の取付精度について

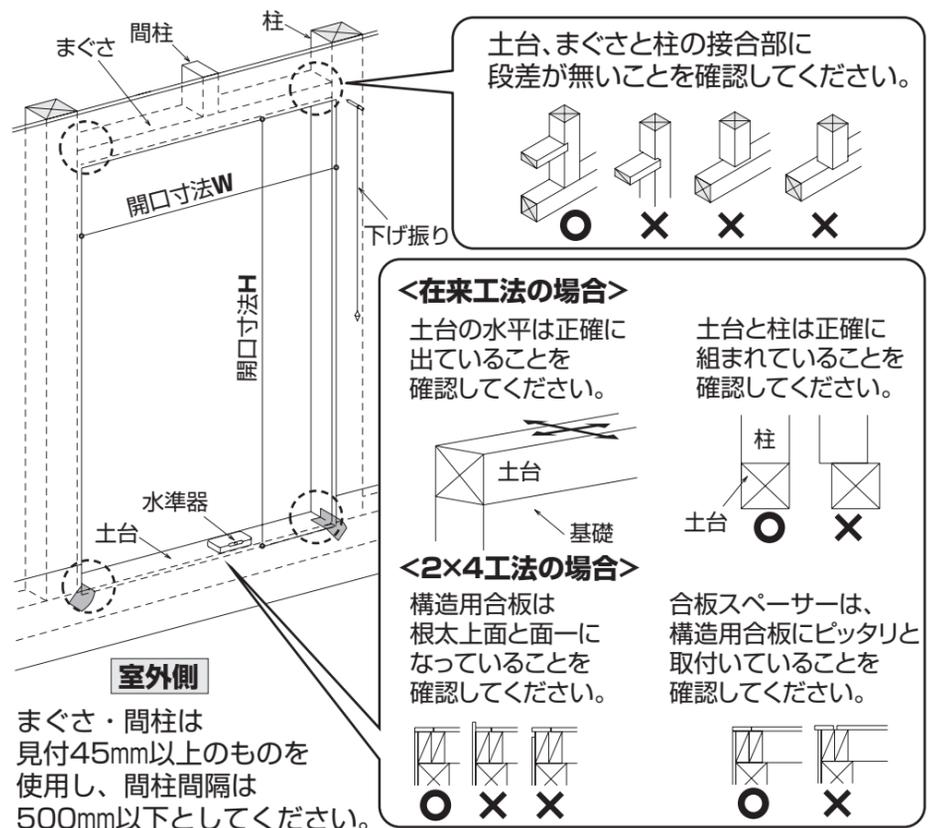
- 枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。下記寸法を超えると気密・水密性が悪くなります。



同梱一覧

番号	①	②	③
姿 図			
品 名	皿木ねじ (φ3.1×25)	皿木ねじ (φ3.1×20)	丸木ねじ (φ3.1×25)
品 番	WF-3125	WF-3120	WR-3125
個 数	12~16	18~24	1
備 考	枠取付用	枠取付用 (アングル部)	エピソードのみに同梱 枠取付用 (2×4工法単純段差枠・ プラットフォーム対応枠)

1. 開口部の確認



2. 枠の取付

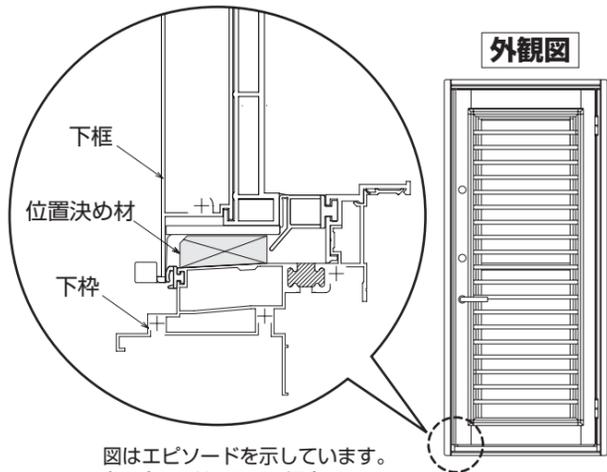
▲ 注意

- 本体取付箇所には必ず柱があることを確認してください。
- 構造用合板のみでの取付けはしないでください。強度が保たれません。

お願い

● 位置決め材について

- 位置決め材は取付けが完了するまで絶対に外さないでください。戸先が下がり、開閉に支障が出るおそれがあります。
- 取付完了後、位置決め材を必ず取外してください。



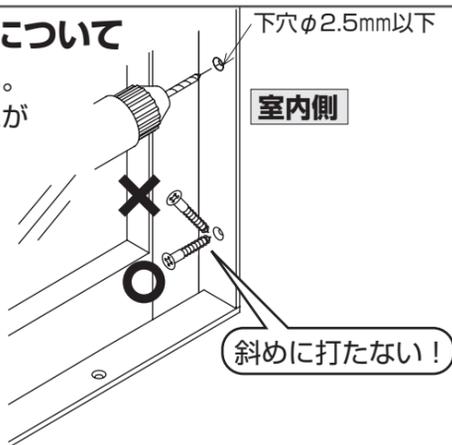
図はエピソードを示しています。
(エピソード NEO の場合は、
下枠形材が異なります。)

● 樹脂アングル部の取付けについて

- ねじはまっすぐに打ってください。斜めに打つとねじ頭が浮くおそれがあります。



- 2.5mm以下のドリルで下穴をあけると打ちやすくなります。

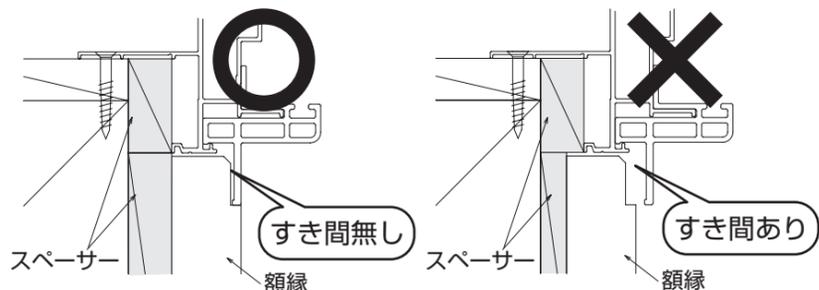


- 樹脂アングル部は、適正トルク **1.0N・m** 程度でねじ留めしてください。トルクが大きすぎると樹脂アングルが波打ちします。

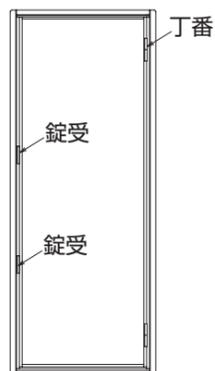


● スパースーについて

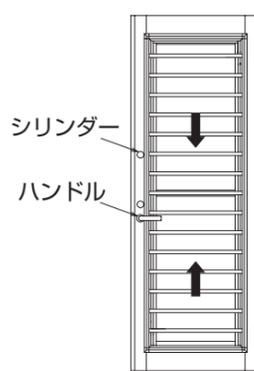
- 窓枠と躯体・窓額縁と躯体の間にすき間の無いよう、適正な厚さのスパースーを入れてください。
- 窓枠にソリ・フクレが生じた場合、性能に影響をおよぼす場合があります。



枠(外觀図)

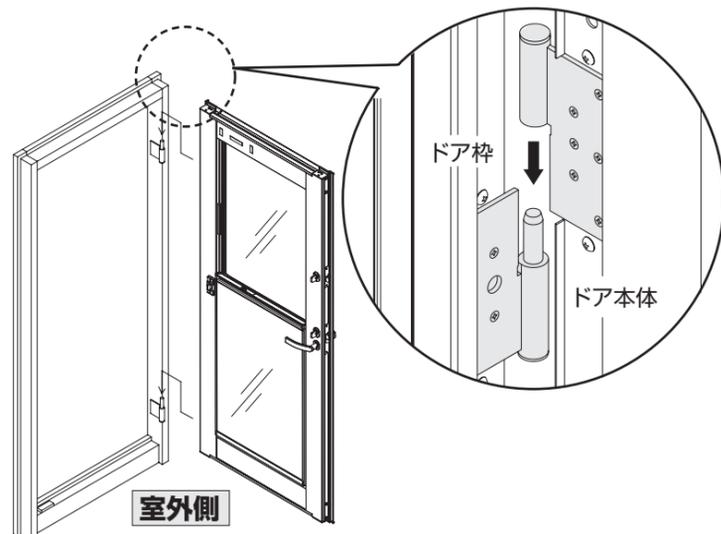


ドア本体(外觀図)

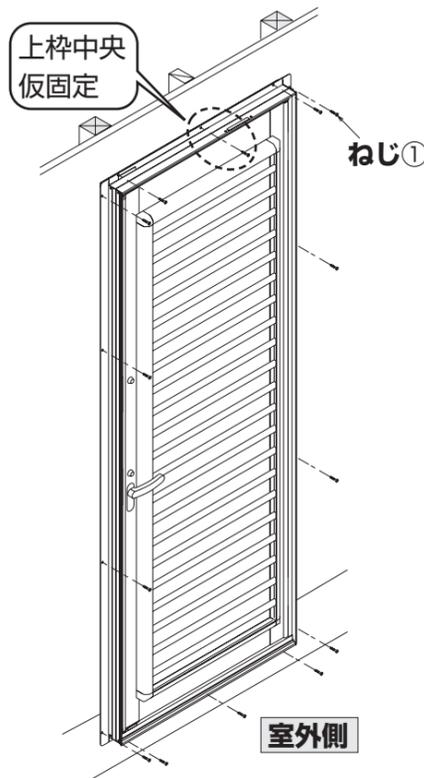


(通風ドアを示す)

1. ドア枠とドア本体の上下二箇所の丁番をあわせて吊込みます。上枠が干渉しないようにドア本体を開いた状態で吊込んでください。



2. 施工・運搬時にドア枠とドア本体が外れないよう、ドアを閉めた状態でサムターンを施錠してください。
3. ドア枠にドア本体が吊込まれた状態で開口に取付けてください。
4. 上枠中央部を仮固定した上で、下げ振り、水準器などを使用し、枠のソリ・対角差・ねじれの無いように枠をねじで固定してください。



枠取付後の確認

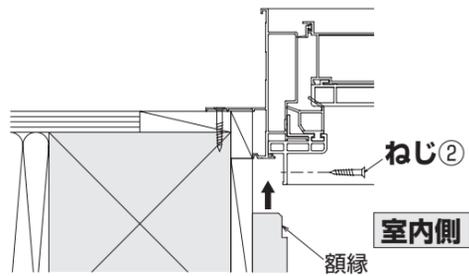
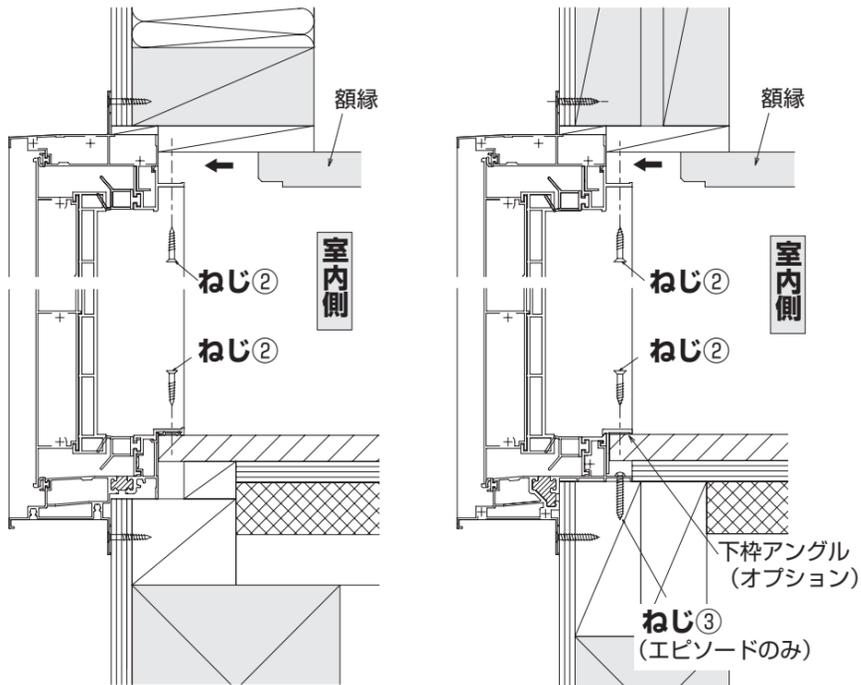
冒頭のお願いに記載されている許容範囲内で、枠が取付けされているか確認を行ってください。許容範囲を超える場合、開閉不良、性能低下の原因となりますので取付調整を行ってください。

2. 枠の取付(つづき)

5. 室内側アングル部をねじで固定してください。

<在来工法・2×4工法>

<2×4工法(単純段差枠)・
在来工法(プラットフォーム対応枠)>



図はエピソードを示しています。
(エピソード NEO の場合は、
下枠形材が異なります。)

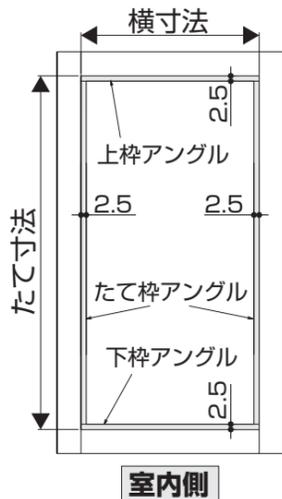
木額縁製作時の採寸

● たて寸法

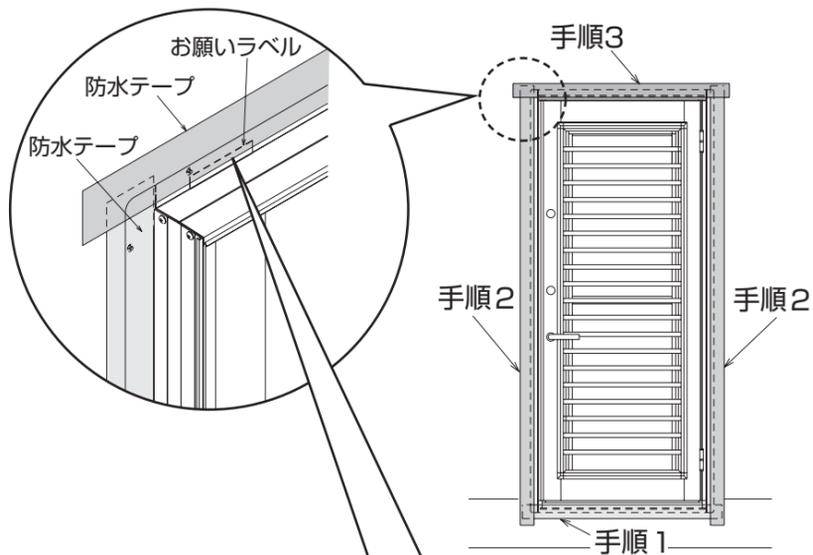
たて枠アングルと
上・下枠アングルの
コーナーをピッタリあわせて
採寸してください。

● 横寸法

上・下枠アングルの
長さを採寸してください。



防水テープの貼付



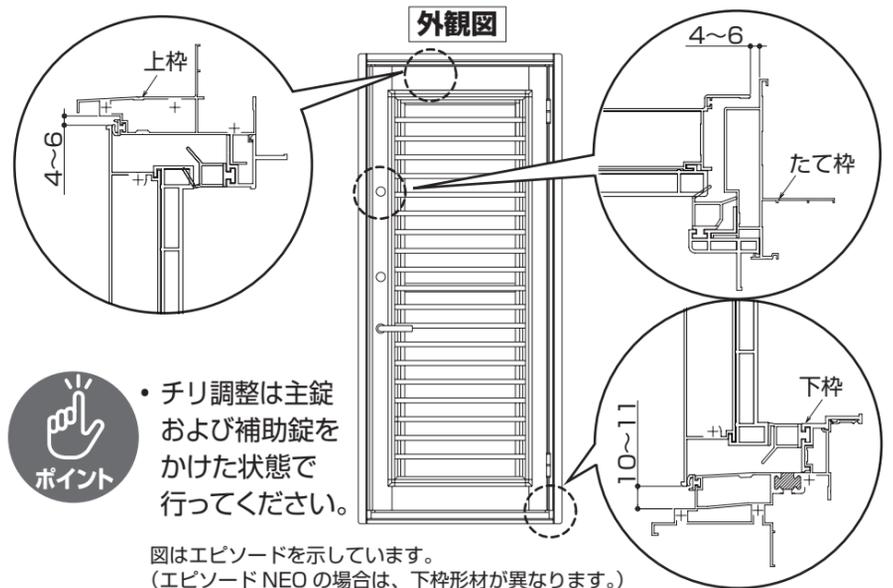
この線まで
防水テープは、ラインが隠れるよう平行に
貼ってください。

お願い

● 施工完了後、位置決め材を取外してください。

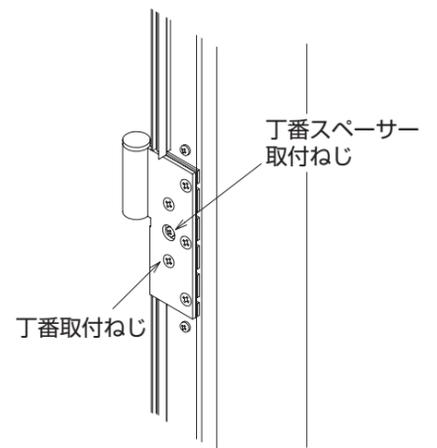
3. 建付調整

枠とドア本体のチリ寸法が下図の範囲で施工されていることを確認してください。
範囲を超える場合、開閉不良、性能低下の原因となりますので、
建付調整を行ってください。

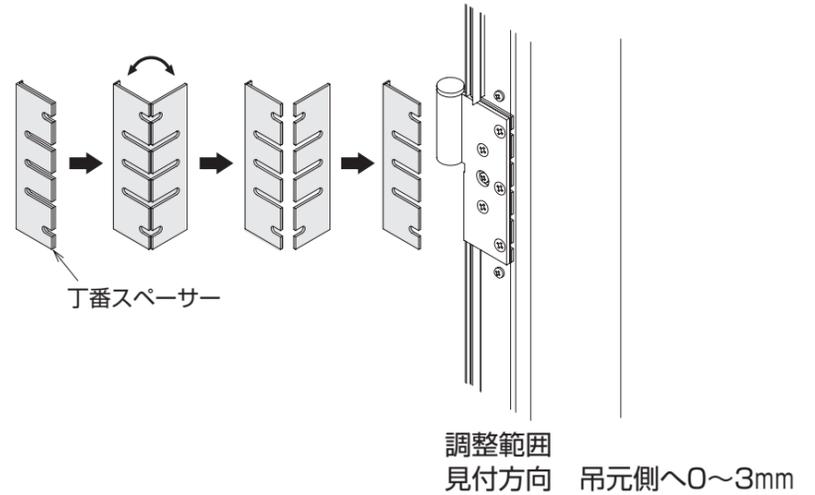


左右方向の調整

1. ドア側の丁番取付ねじ(5本)および丁番スペーサー取付ねじをゆるめます。



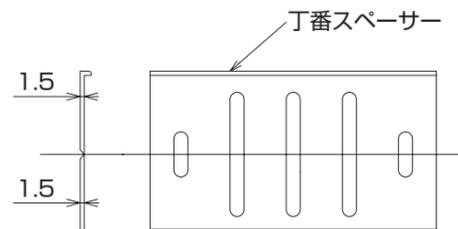
2. 丁番スペーサーを引抜き、開いて、折曲げ線に沿って切り、使用します。



丁番スペーサーの枚数によりドアが吊元側に寄ります。

丁番スペーサー1枚：吊元側に1.5mm

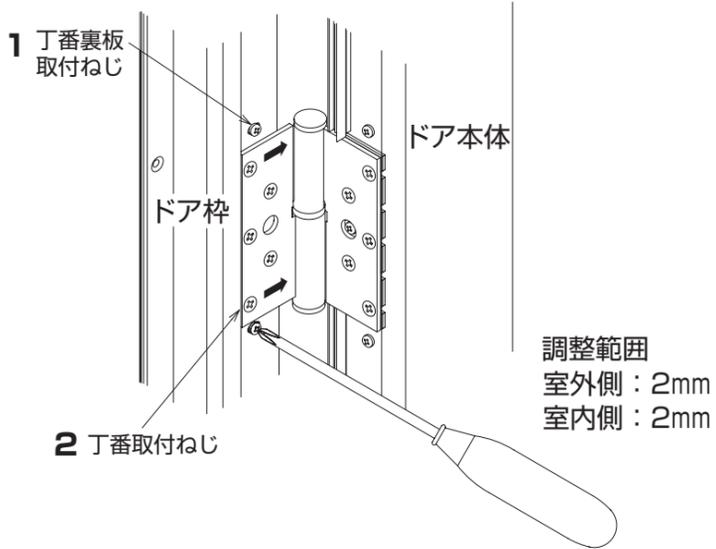
丁番スペーサー無：吊元側に3mm



3. 建付調整(つづき)

室内外方向の調整

1. 枠側の丁番裏板を留めているねじ(2本)をゆるめてください。
2. 丁番取付ねじ(5本)をゆるめて調整を行ってください。
3. 調整後、ゆるめたねじを全て締付けてください。

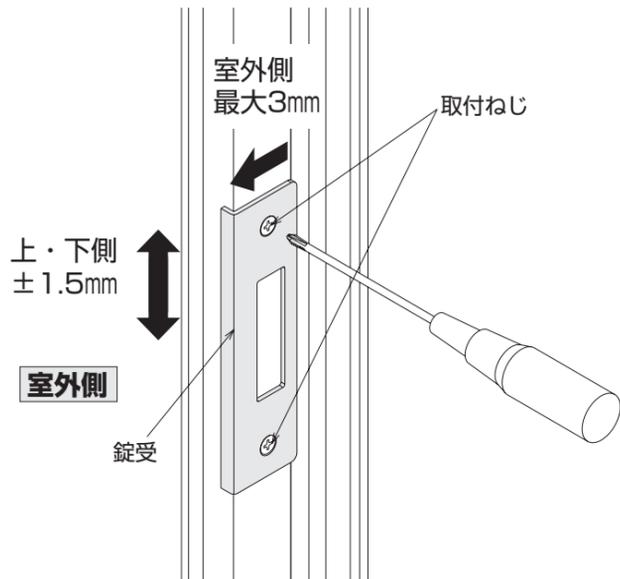


建付調整後の確認

- 開閉がスムーズに出来るかを確認してください。
錠がかかるかを確認してください。
ラッチや鎌錠がかかりにくい場合、錠受を調整してください。

4. 錠受の調整

1. 錠がかかりづらい場合は、錠受けの取付ねじをゆるめ上下、室外側に調整を行ってください。



2. 調整後、取付ねじをしっかり締付けてください。